

里子屋便り

No.37

2025 年 10 月 13 日
生活クラブ生協大阪 がっこう部会

里子屋便りとは？ 「里」は里山の里。「子屋」は江戸時代のがっこう（寺子屋）の子屋。
まさに、豊かな自然の中で暮らしそのものが、がっこう生たちの学び舎となっている
里山の様子をお伝えします。

元気いっぱい第 13 期生のスタート！

【子どもが育つ・子どもと育つ・子どもを育てる】をモットーに活動
している里山のがっこうの 13 期上半期の様子をお知らせします。
心温まる第 1 期生から頂いたコメントをご紹介します。

~~~~~

もう何年も前のことだなんて時が経つのは恐ろしく感じます。

懐かしい思い出のことを思い出しているのですが次から次へと溢れ

てきています。今私の頭の中にある里山のがっこう部会をのぞいているのですが、青々とした山の夏の  
日の記憶でいっぱいです。田んぼに足を入れた時のヒヤッとする気持ちよさ、仙の森での冷たすぎる川に  
架かる丸太を登ったこと。(落ちました。)

私はアクティブな方ではないので、いつもお姉さんの側に座りお話をして過ごしていました。その時見  
ていた光景が私にとっては宝物で、今その瞬間に戻りたくてたまりません。美味しいご飯を作ってくれる  
大好きな女性スタッフの方達の姿。そして汗流しながら木を割り、火の準備をしたりと力仕事をするかっ  
こいい男性スタッフの姿。みんな私のお母さんとお父さんです。年々夏を過ごすのが辛くなってきている  
のですが、思い出す夏の里山のがっこうの風景はとても爽やかです。冬が苦手な為、冬の里山の学校の記  
憶が薄れていますが、キャンプファイヤーの時の冷たい空気の空一面に輝く星とはにーさんの声は鮮明に  
覚えています。

小学 3 年生の時の担任の先生がとても怖い人で毎日学校に行くのが嫌だったんです。なので里山のがっ  
こうがもう楽しくて楽しくて仕方ありませんでした。当時はこの時間が一生続けばいいと思っていまし  
た。私にとっては現実逃避の夢のような場所でした。今もあれは夢だったのではないかとと思っています。  
あの家族のような場所があったからなんとか息をすることができました。そして、里山のがっこうで経験  
できたことや出会えた人たちのおかげで今の私がいます。帰る場所があること、胸を張れる思い出がある  
ことが私を強く前向きにしてくれます。里山のがっこうという場所、小出さんを筆頭に私たちに素敵な思  
い出を創ってくれるスタッフの方々、そして生活クラブに入り、家族の健康ことを考えた料理を創ってく  
れる大好きなお母さんにとても感謝しています。当時私は将来、里山のがっこうのリーダーになることが  
夢でした。

今度は私が里山のがっこうに来る子供たちに素敵な思い出を創ってあげたいなと秘かに思っています。里  
山のがっこうで皆さんにお会いできること、一緒に素敵な思い出を創れることを心待ちにしています。そ  
して今もあるかな…？新聞部 一緒に新聞作成したいです!!。

実は私が里山のがっこうのキャラクター書きました。息子が一歳になり、歩けるようになったら一緒に  
参加したいと思っています。息子に私の大切な場所や人達を紹介できる日が楽しみです。

カラーの便りは  
こちらから見る事が出来ますよ



# 第 13 期上半期の様子とがっこう生たちの声

4 月 13 日 開校式 初対面でもすぐに仲良し！



5 月 4-5 日 田植えとがっこう生たちの共同生活の開始！

バスで活動場所まで、出発！！

まずは田植え！！



たんぼで思ったよりじめんが又チョ又チョしていた♪

てらっちとどろだんごで遊んでたのしかった。むしがいたよ。クモ、アメンボ、せおいむし、子おいむし、いろんな生物を見つけた。田植えをした、たくさん収穫できたらうれしい。

皆で食事をつくり、夜はキャンプファイヤー。寝た場所は皆でお掃除。



キャンプファイヤーでみんなと  
あそんだり、おどったりしたよ

火起こしをして、  
マシュマロを食べた（笑） マシュマロ焼き▶▶



工作で色々なものを作れてうれしかった。たけのこ掘りもりも楽しかった



たけのこ掘る

班ごとに発表

## 6月 1日 植えた稲は少し大きくなった。生き物もたくさん



水生生物観察会

ササブネ完成！

## 7月 20日 里の暮らしに色々学ぶ



窯で焼いたピザは？

今年は豊作？

お馬さんの手入れ

がっこうの活動に興味を持たれた方、体験参加してみたい方のご連絡をお待ちしています。

| 今後の日程    | 主なイベント                   |
|----------|--------------------------|
| 11月1-3日  | 収穫したお米で収穫祭と模擬店           |
| 1月17-18日 | 収穫したお米でお餅つき（体験参加可能、数名限定） |

連絡先 事務局：090-8823-4347 小出